

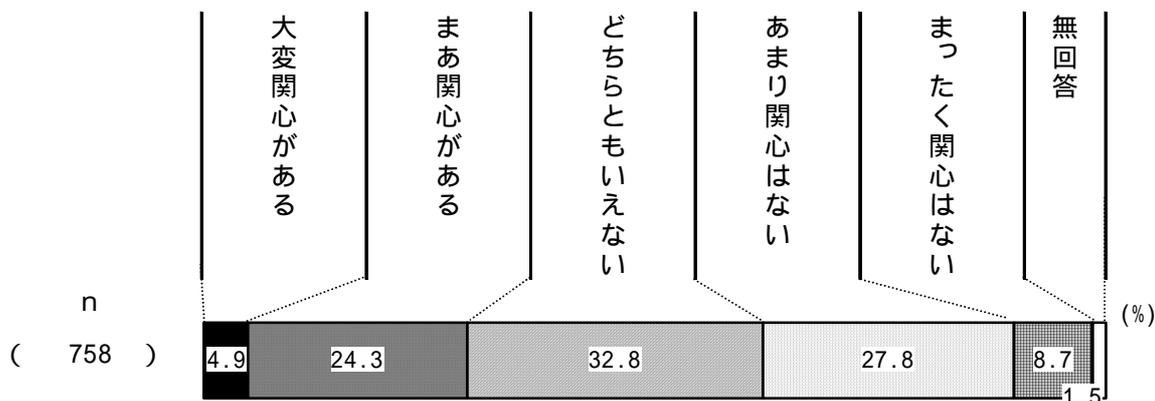
9 . 男女共同参画

(1) 男女共同参画の関心度

《関心がある》は 29.2%、《関心がない》は 36.5%

問 21 「男女共同参画」に関する動きや推進についてどの程度関心をお持ちですか。次の中から 1 つだけ選んでください。

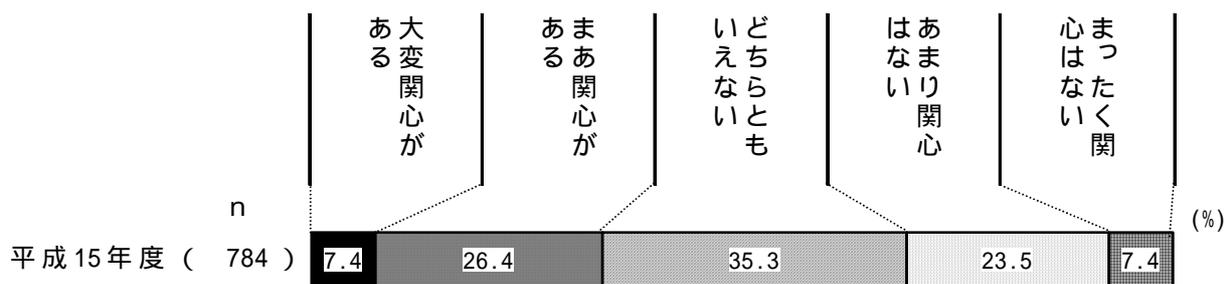
< 図表 9 - 1 > 男女共同参画の関心度



男女共同参画の関心度については、「大変関心がある」(4.9%) と「まあ関心がある」(24.3%) を合わせた《関心がある》(29.2%) の割合は、約 3 割である。一方、「あまり関心はない」(27.8%) と「まったく関心はない」(8.7%) を合わせた《関心がない》(36.5%) の割合は 3 割台半ばを占める。また、「どちらともいえない」(32.8%) は 3 割強となっている。(図表 9 - 1)

平成 15 年度の調査結果と比較すると、《関心がある》の割合はやや増加している。(図表 9 - 2)

< 図表 9 - 2 > 男女共同参画の関心度 (平成 15 年度調査)

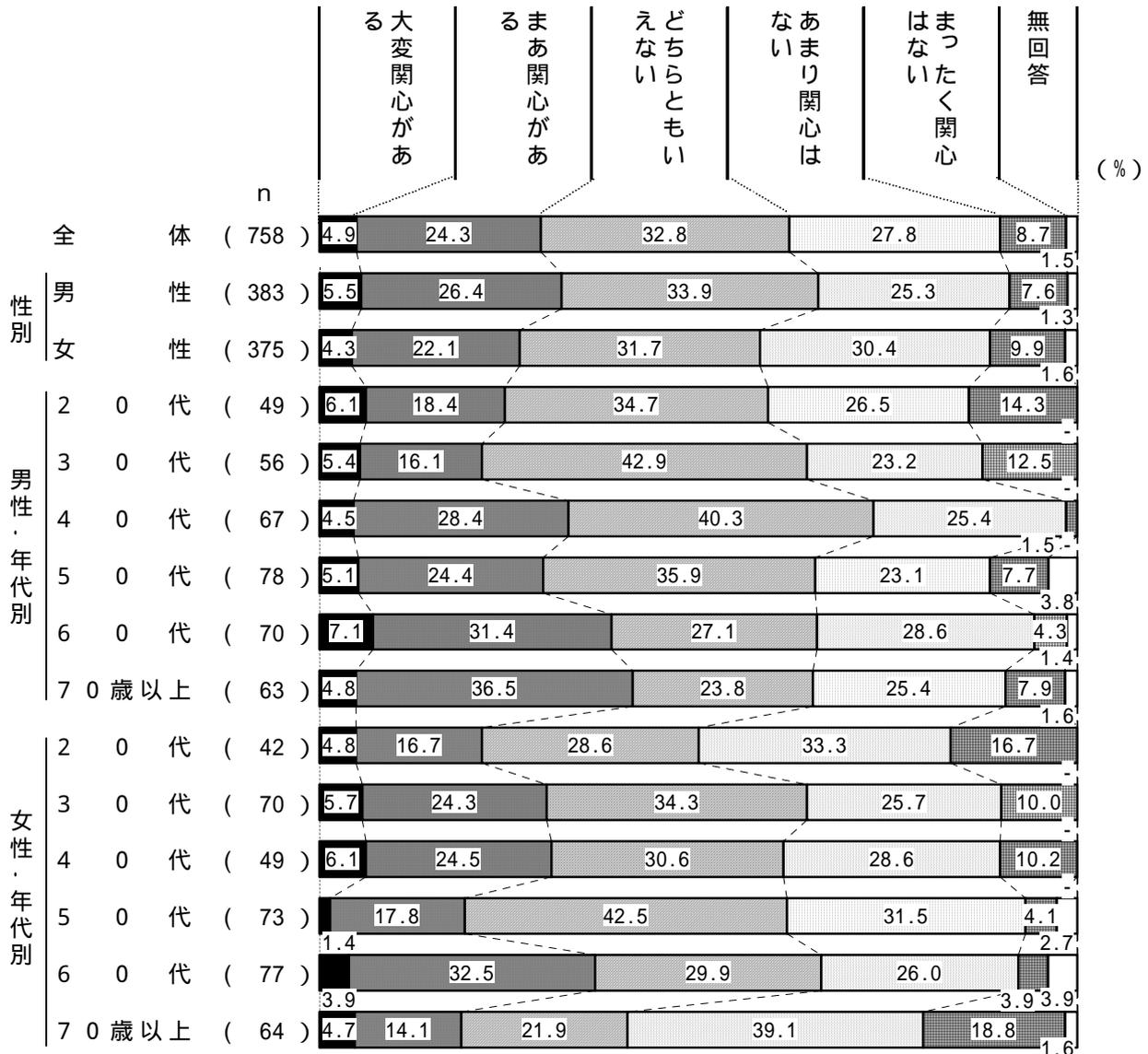


性別でみると、《関心がある》の割合は、男性(31.9%)の方が女性(26.4%)よりも高くなっている。

(図表9-3)

性・年代別では、《関心がある》の割合は、男性では70歳以上(41.3%)、60代(38.6%)で4割前後と高く、女性では60代(36.4%)で3割台半ばとなっている。一方、《関心がない》は女性の70歳以上(57.8%)で高く、6割弱を占める。(図表9-3)

<図表9-3>男女共同参画の関心度/性別、性・年代別

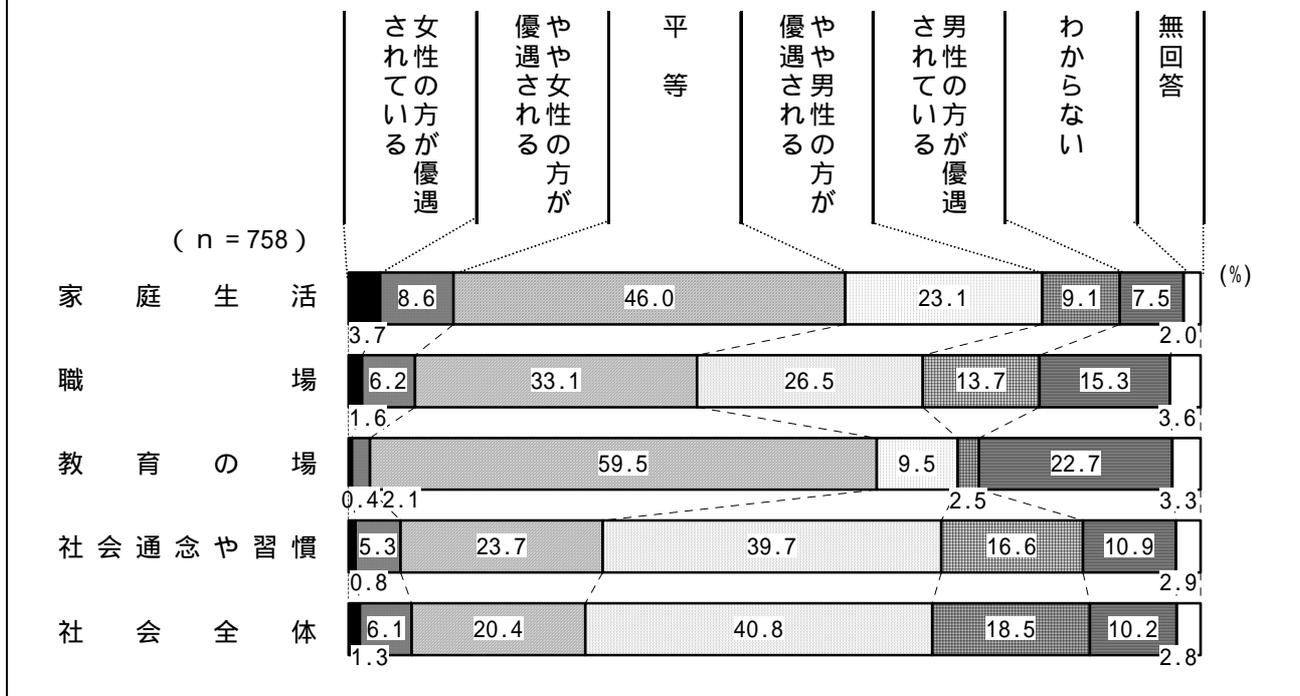


(2) 男女の地位

『教育の場』では「平等」が約6割だが、『社会通念や習慣』では約6割が《男性優遇》

問 22 あなたの身近なそれぞれの場において、男女の地位は平等になっていると思いますか。その場
にいない場合でもまわりを見て、最も近いと感じるものをお選びください。(ア)から(オ)までの各項目
目について、それぞれ1つずつ選んでください。

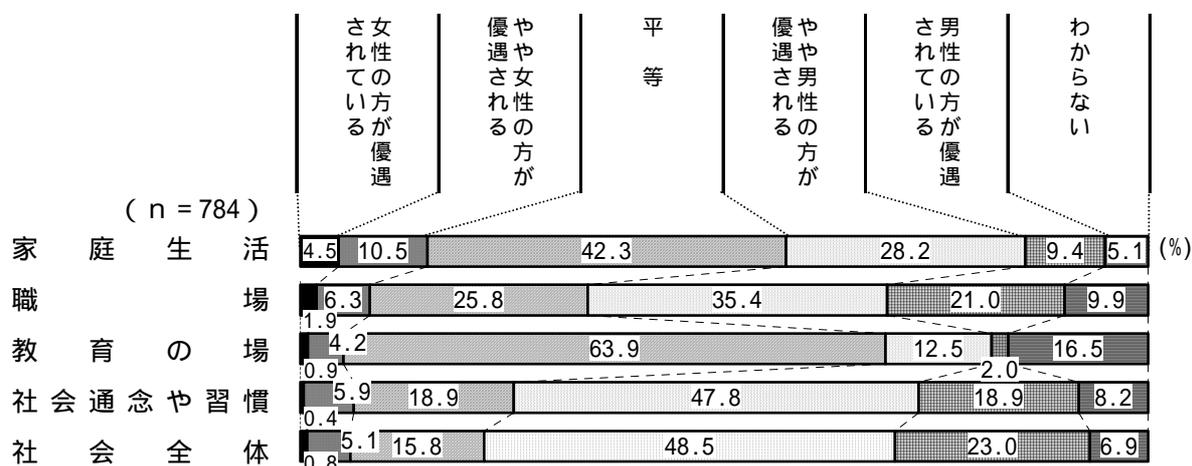
<図表9-4>男女の地位



男女の地位について身近な場における評価を尋ねたところ、「平等」の割合が最も高かったのは『教育の場』(59.5%)で約6割を占める。次いで、『家庭生活』(46.0%)は4割台半ば、『職場』(33.1%)は3割台半ば、『社会通念や習慣』(23.7%)、『社会全体』(20.4%)は2割台となっている。また、「女性の方が優遇されている」と「やや女性の方が優遇されている」を合わせた《女性優遇》は、ほとんどの項目で1割にも満たないが、『家庭生活』(12.3%)では1割強であった。一方、「男性の方が優遇されている」と「やや男性の方が優遇されている」を合わせた《男性優遇》は、『社会全体』(59.2%)では約6割、『社会通念や習慣』(56.3%)では5割台半ばである。(図表9-4)

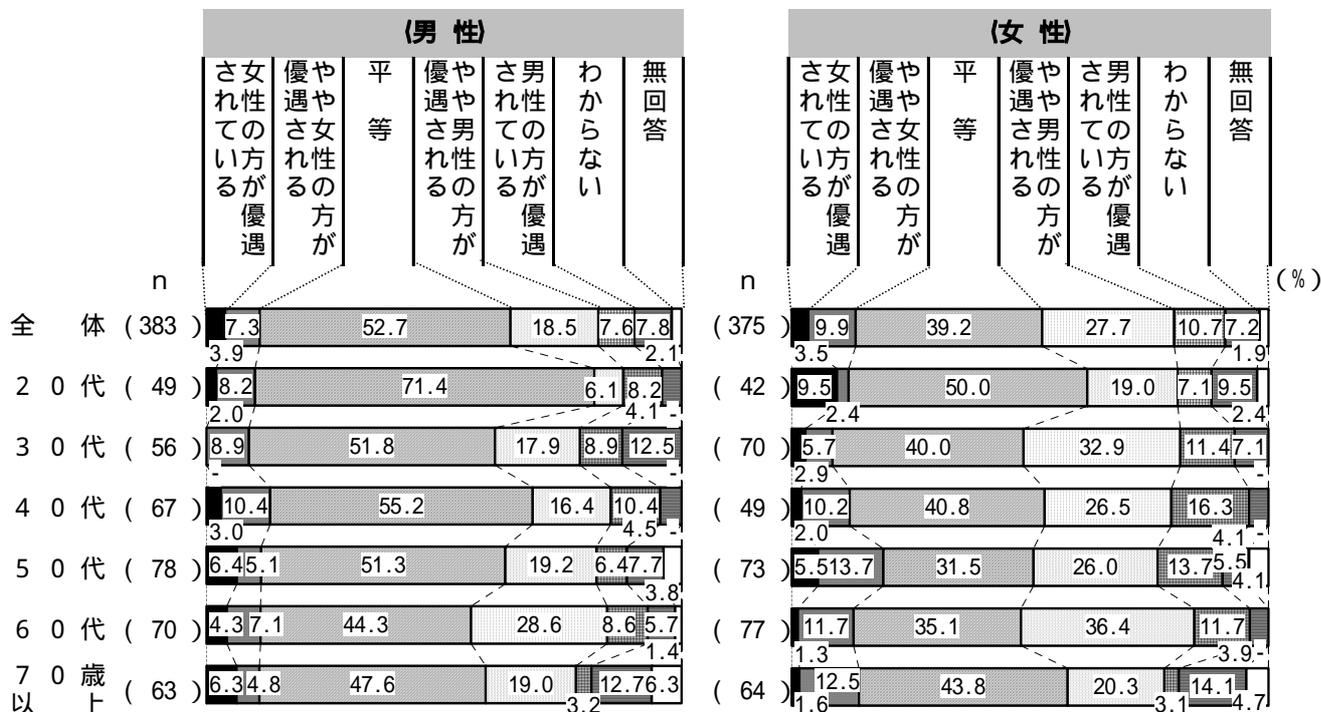
平成15年度の調査結果と比較すると、『教育の場』を除いたすべての項目で「平等」が増加しており、特に『職場』では、7ポイントの増加となっている。(図表9-5)

<図表9-5>男女の地位(平成15年度調査)



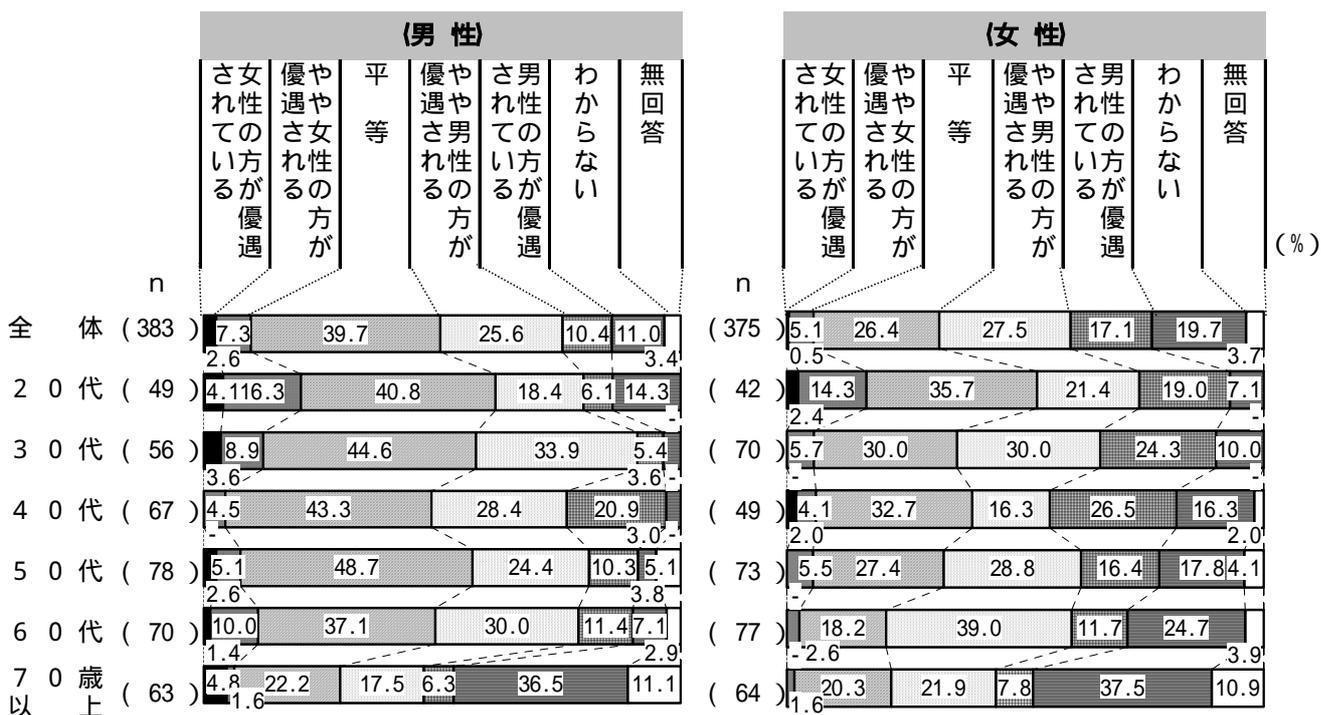
『家庭生活』の評価について性・年代別にみると、男性は約半数が「平等」（52.7%）と感じているが、女性（39.2%）は約4割にとどまっており、《男性優遇》（38.4%）と感じる人とほぼ同率となっている。また、《男性優遇》は女性の60代（48.1%）で5割弱と高く、男性の60代でも4割弱が《男性優遇》（37.1%）と感じている。（図表9-6-1）

<図表9-6-1>男女の地位【家庭生活】/性・年代別



『職場』の評価について性・年代別にみると、「平等」と感じているのは、男性（39.7%）は約4割であるが、女性（26.4%）は4人に1人で、《男性優遇》（44.5%）と感じている割合の方が高い。また、《男性優遇》は女性の30代（54.3%）、60代（50.6%）では半数以上を占めている。（図表9-6-2）

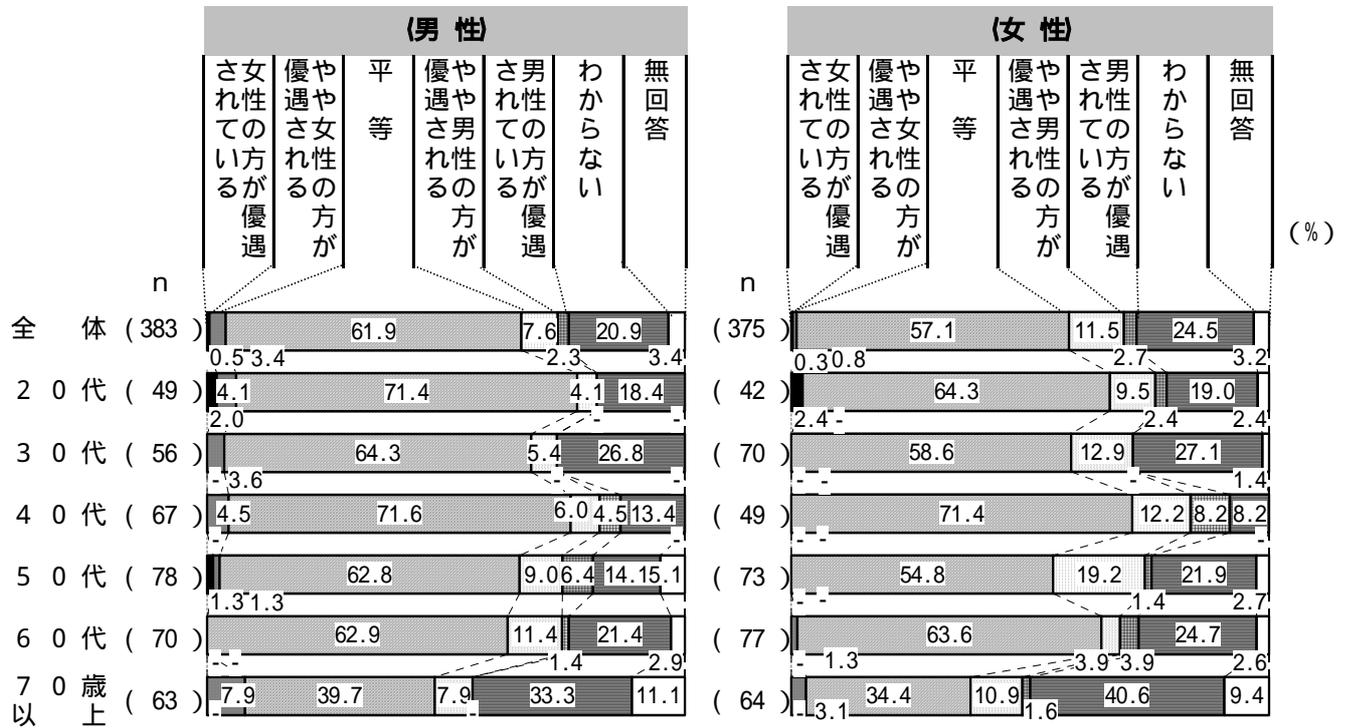
<図表9-6-2>男女の地位【職場】/性・年代別



『教育の場』の評価について性・年代別にみると、男女ともに「平等」（男性 61.9%、女性 57.1%）は 6 割前後となっているが、70 歳以上の男女（男性 39.7%、女性 34.4%）では 3 割台と低くなっている。

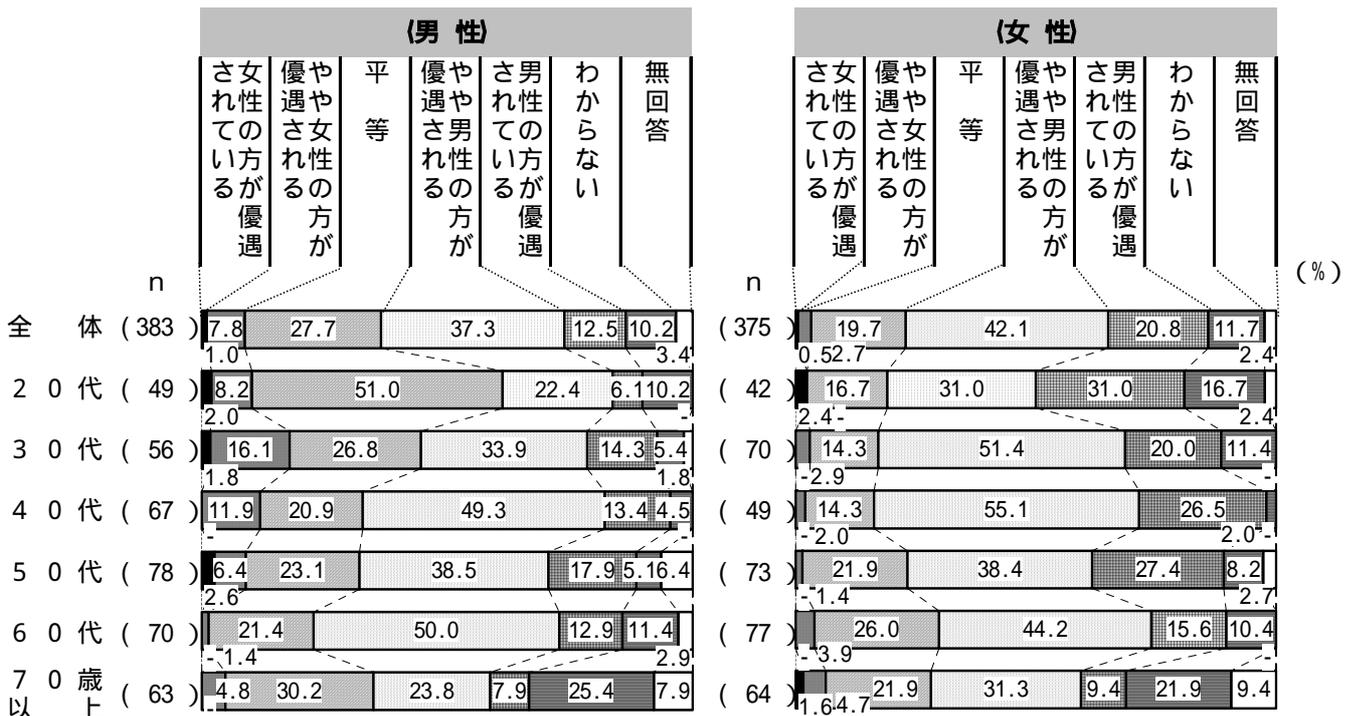
（図表 9 - 6 - 3）

<図表 9 - 6 - 3> 男女の地位【教育の場】 / 性・年代別



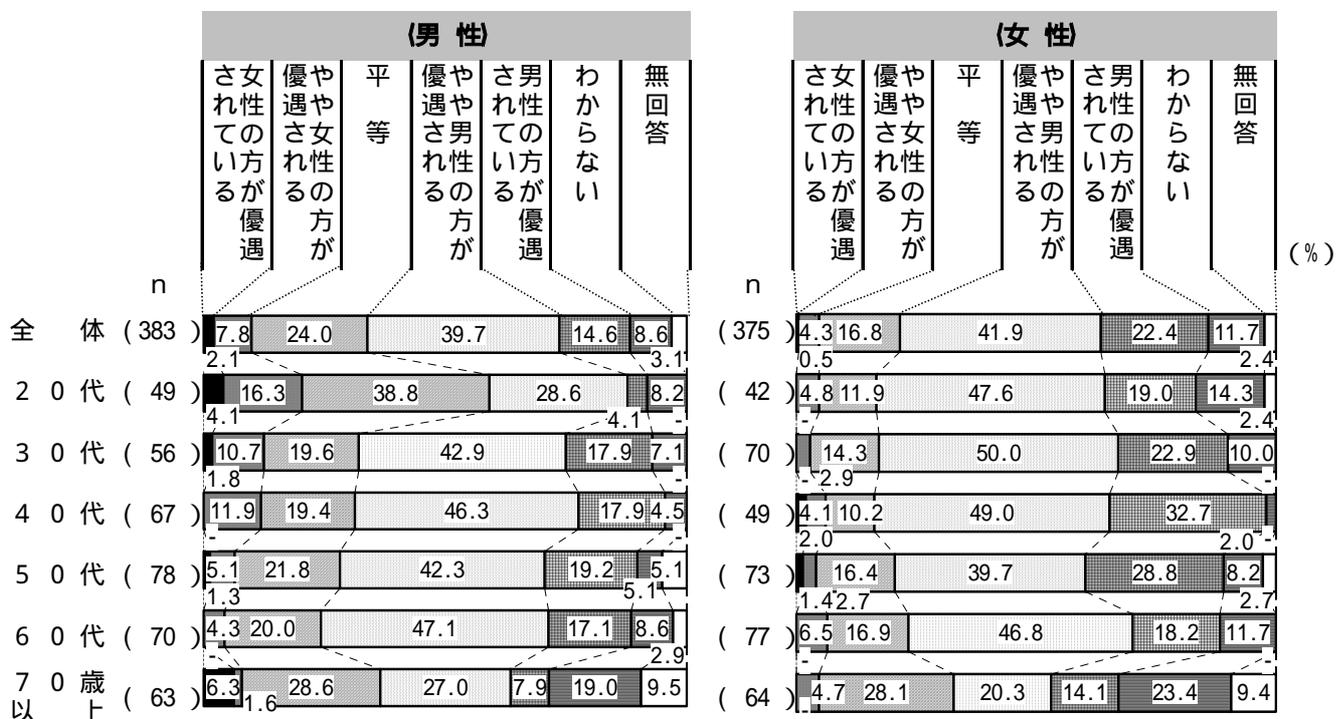
『社会通念や習慣』の評価について性・年代別にみると、男女ともに《男性優遇》の割合が多数を占めているものの、男性（49.9%）は半数、女性（62.9%）は 6 割強と女性が上回っている。また、《男性優遇》は女性の 30代（71.4%）で 7 割を超えており、男性の 60代（62.9%）、40代（62.7%）でも 6 割強を占める。（図表 9 - 6 - 4）

<図表 9 - 6 - 4> 男女の地位【社会通念や習慣】 / 性・年代別



『社会全体』の評価について性・年代別にみると、男女ともに《男性優遇》の割合が多数を占めているものの、男性（54.3%）は5割台半ば、女性（64.3%）は6割台半ばと女性が上回っている。また、《男性優遇》は、女性の30代（72.9%）50代（68.5%）と7割前後となっている。（図表9 - 6 - 5）

<図表9 - 6 - 5>男女の地位【社会全体】 / 性・年代別

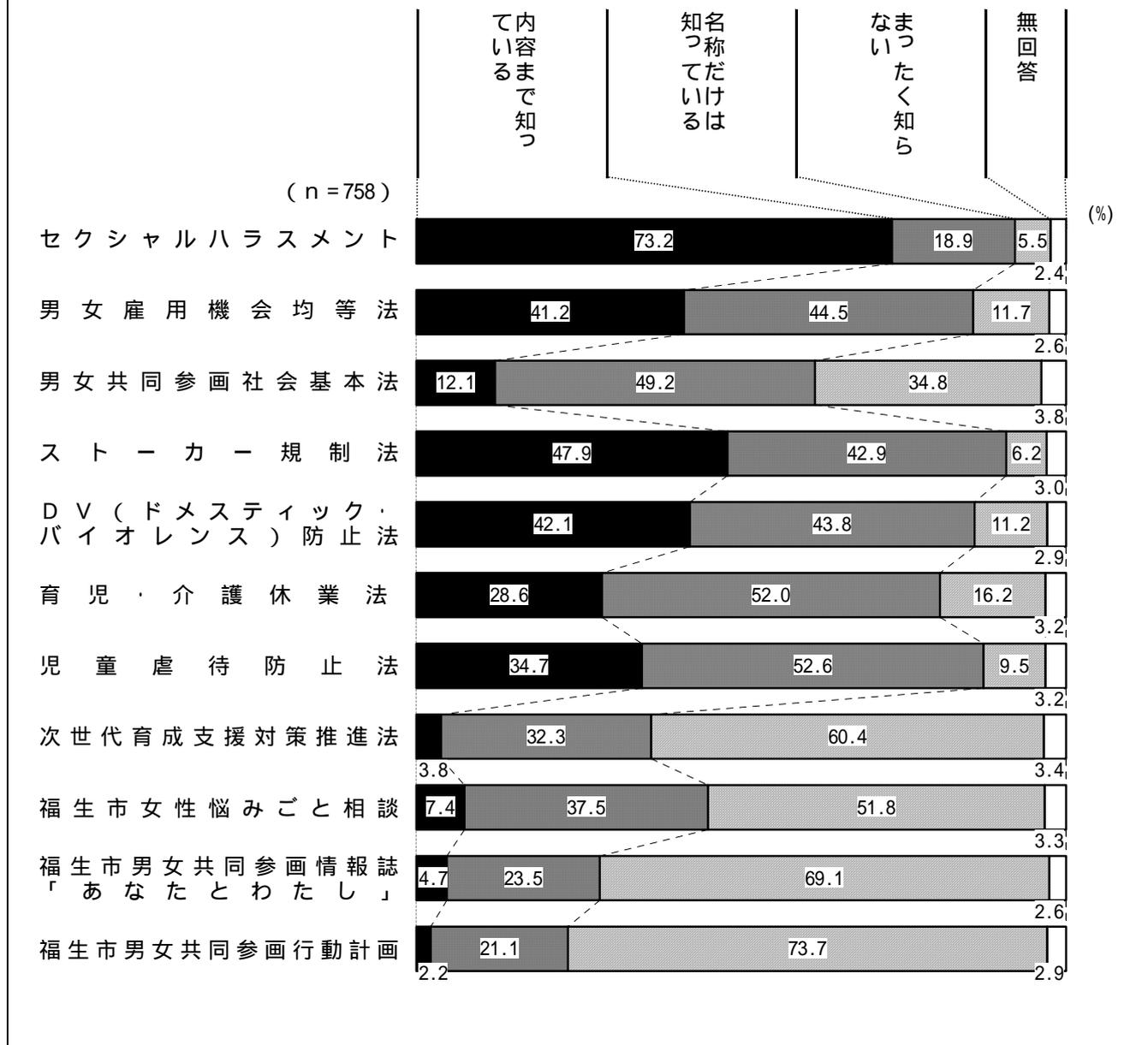


(3) 用語、法律、事業の認知度

『セクシャルハラスメント』『ストーカー規制法』を《知っている》が9割を超える

問 23 次にあげる用語・法律・事業などを知っていますか。(ア)から(サ)までの各項目について、それぞれ1つずつ選んでください。

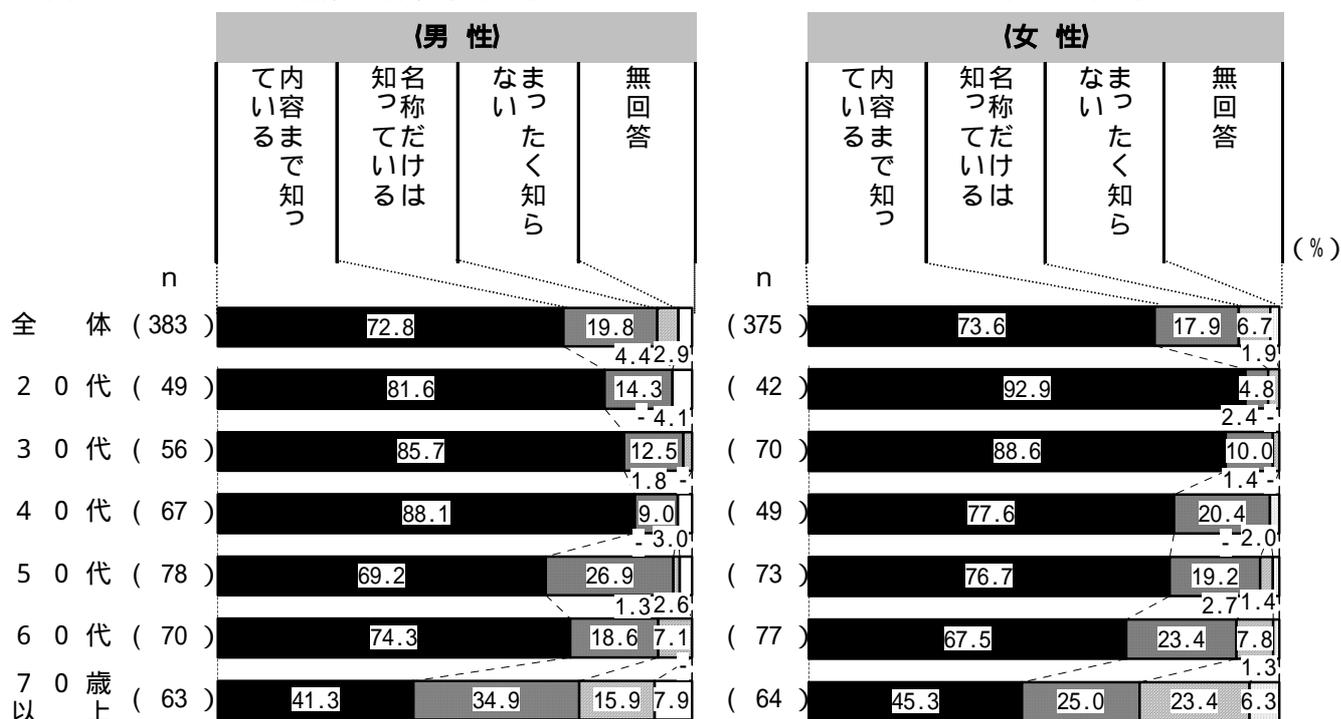
<図表9-7>用語、法律、事業の認知度



男女平等に関する用語・法律・事業の認知度については、「内容まで知っている」と「名称だけは知っている」を合わせた《知っている》の割合は、『セクシャルハラスメント』(92.1%)、『ストーカー規制法』(90.8%)で高く9割を超えている。また、『セクシャルハラスメント』では「内容まで知っている」(73.2%)が7割強と高い割合を示している。一方、「まったく知らない」では『福生市男女共同参画行動計画』(73.7%)と『福生市男女共同参画情報誌「あなたとわたし」」(69.1%)が7割前後、『次世代育成支援対策推進法』(60.4%)が6割、『福生市女性悩み事相談』(51.8%)が5割強となっている。(図表9-7)

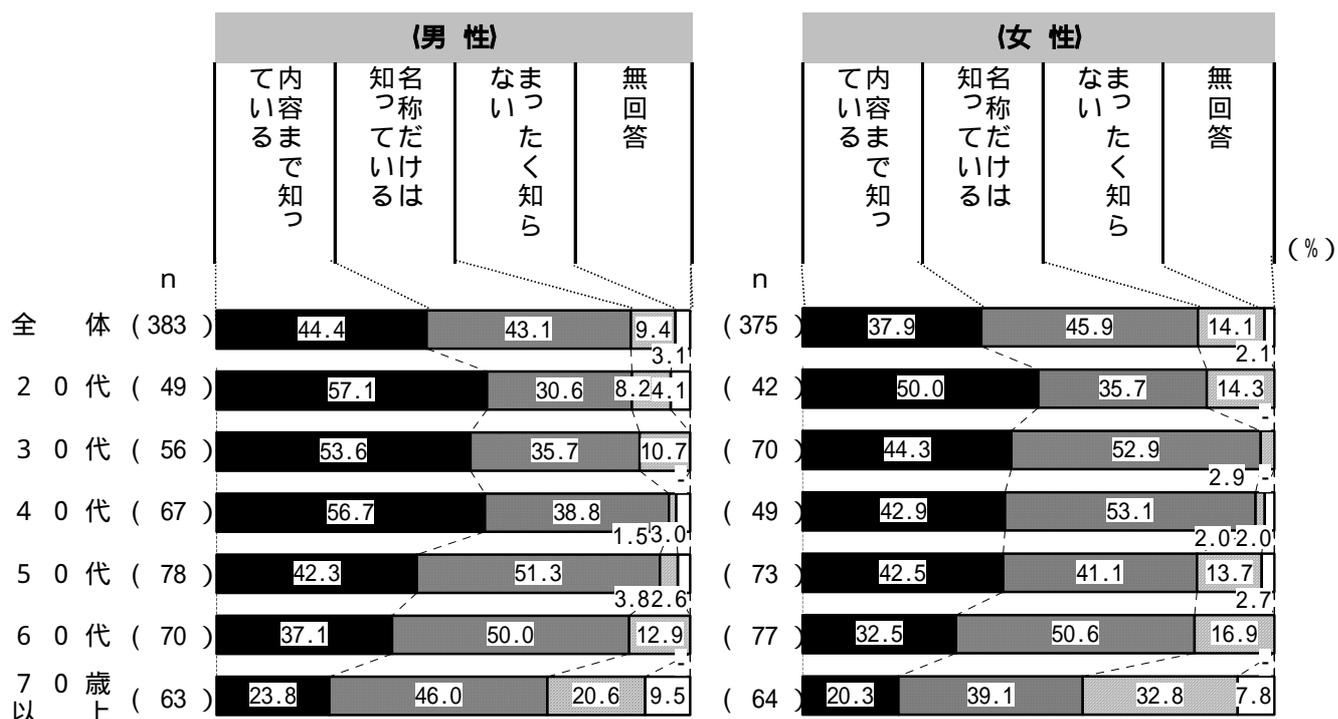
『セクシャルハラスメント』の認知度について性・年代別で見ると、男女とも 70 歳以上を除き各年代で 9 割以上が《知っている》。「内容まで知っている」は、男性の若年層に高く、女性では年代が下がるにしたがい高くなっている。(図表 9 - 8 - 1)

<図表 9 - 8 - 1>用語、法律、事業の認知度【セクシャルハラスメント】/性・年代別



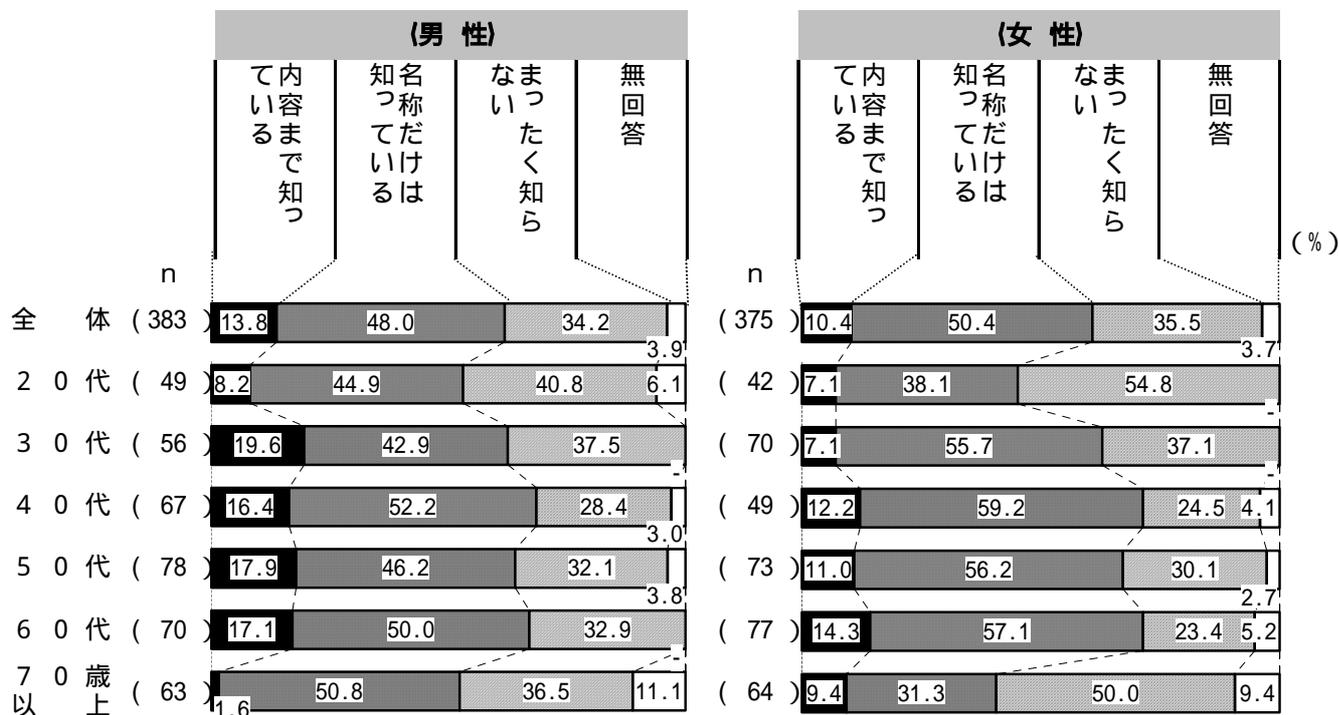
『男女雇用機会均等法』の認知度について性・年代別にみると、男女ともにどの年代でも高い認知度を示しているものの、男女ともに 70 歳以上では「まったく知らない」(男性 20.6%、女性 32.8%)の割合が他の年代に比べて高くなっている (図表 9 - 8 - 2)

<図表 9 - 8 - 2>用語、法律、事業の認知度【男女雇用機会均等法】/性・年代別



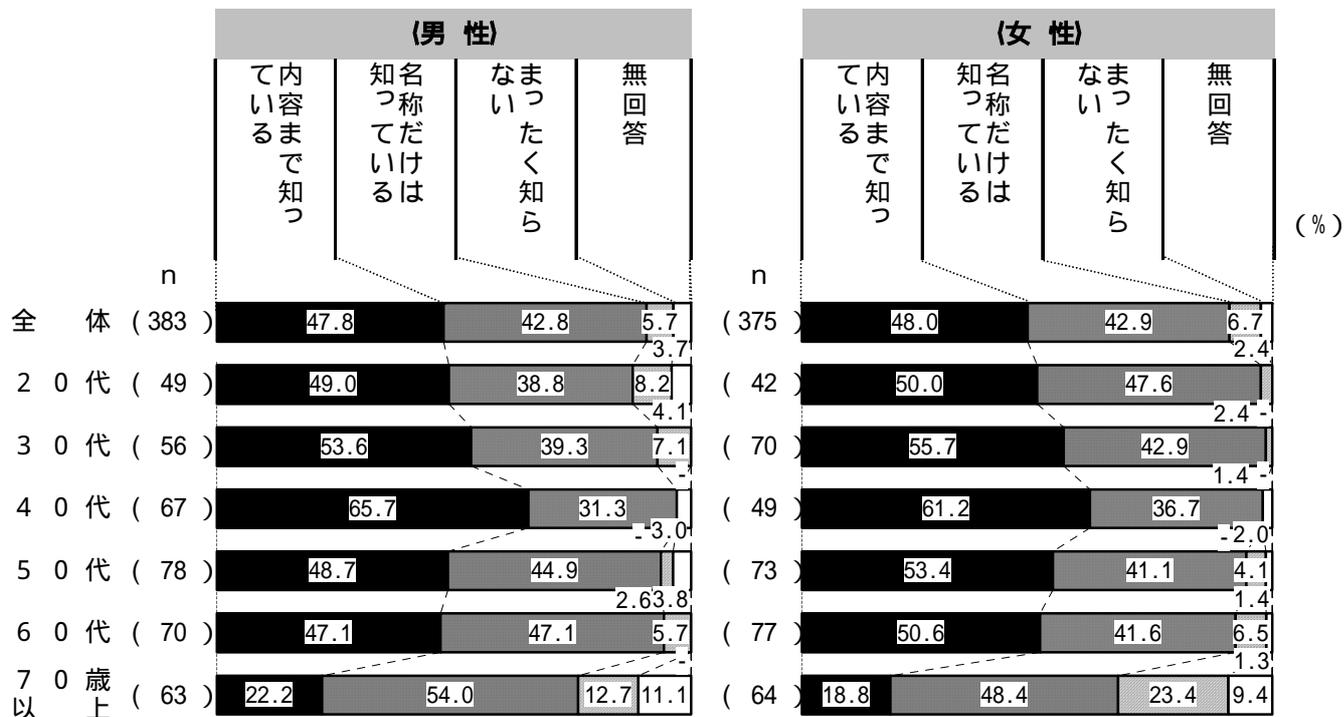
『男女共同参画社会基本法』の認知度について性・年代別にみると、《知っている》は女性の70歳以上（40.6%）他の年代に比べ低くなっており、「まったく知らない」（50.0%）の割合の方が高くなっている。（図表9-8-3）

<図表9-8-3>用語、法律、事業の認知度【男女共同参画社会基本法】/性・年代別



『ストーカー規制法』の認知度について性・年代別でみると、男女ともに各年代で認知度が高いが、70歳以上では他の年代に比べ若干低くなっている。（図表9-8-4）

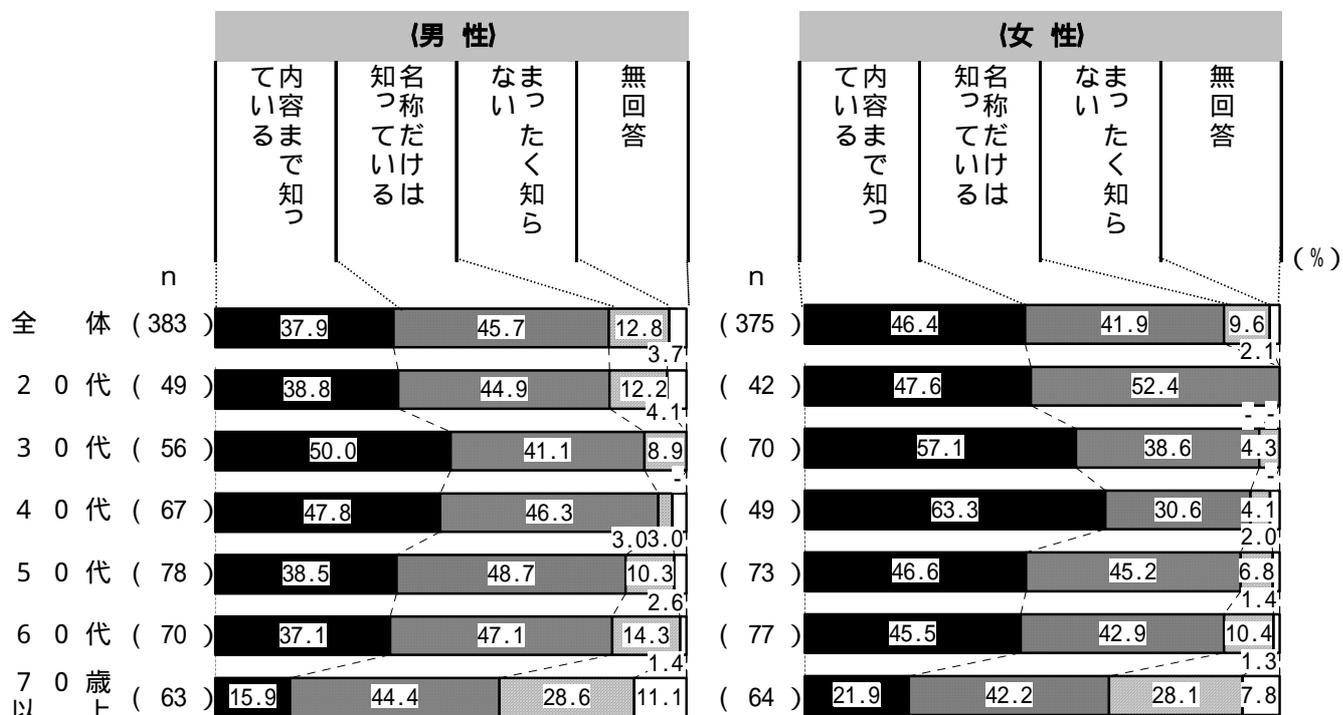
<図表9-8-4>用語、法律、事業の認知度【ストーカー規制法】/性・年代別



『DV防止法』の認知度について性・年代別でみると、「内容まで知っている」は男性の30代(50.0%)、40代(47.8%)で5割前後、女性の30代(57.1%)で6割弱と割合が高くなっている。一方、「まったく知らない」では、男女とも70歳以上(男性28.6%、女性28.1%)で3割弱と高い割合を示す。

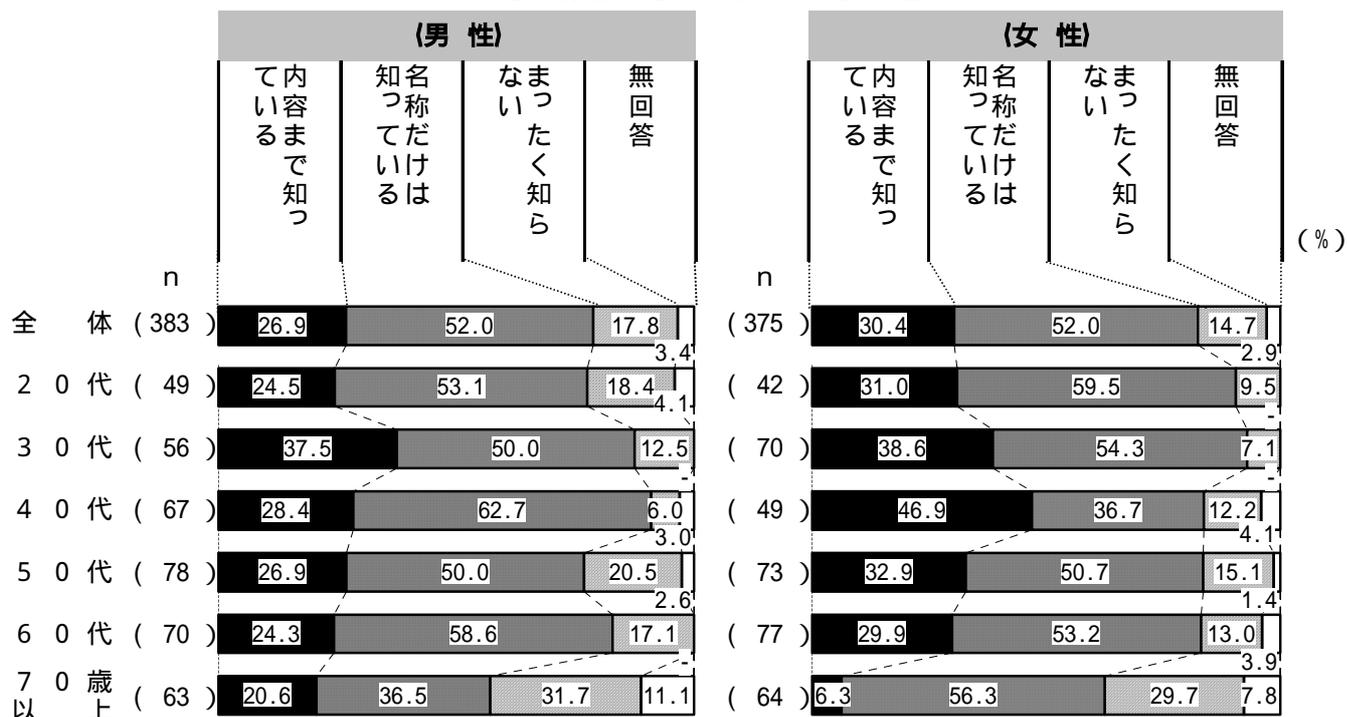
(図表9-8-5)

<図表9-8-5>用語、法律、事業の認知度【DV防止法】/性・年代別



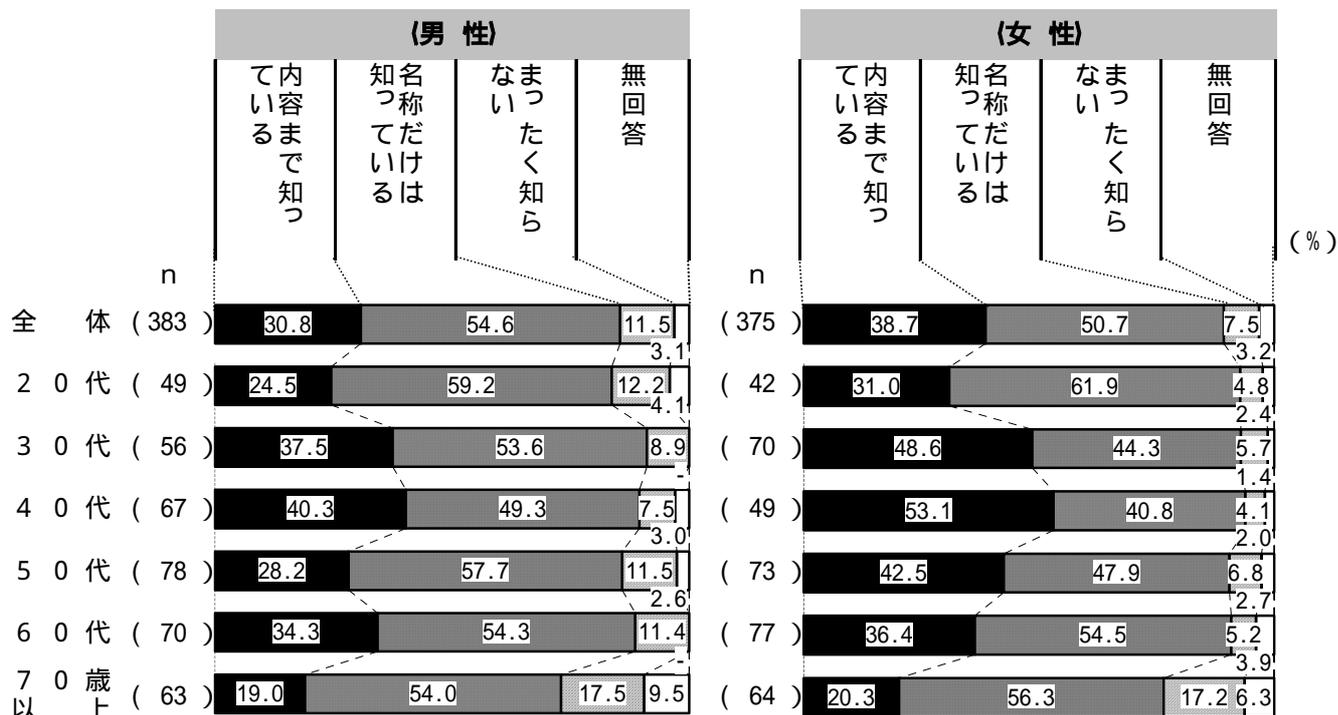
『育児・介護休業法』の認知度について性・年代別でみると、男女ともにどの年代でも高い割合を示しているものの、70歳以上では他の年代に比べ低くなっており、「まったく知らない」(男性31.7%、女性29.7%)が3割前後となっている。(図表9-8-6)

<図表9-8-6>用語、法律、事業の認知度【育児・介護休業法】/性・年代別



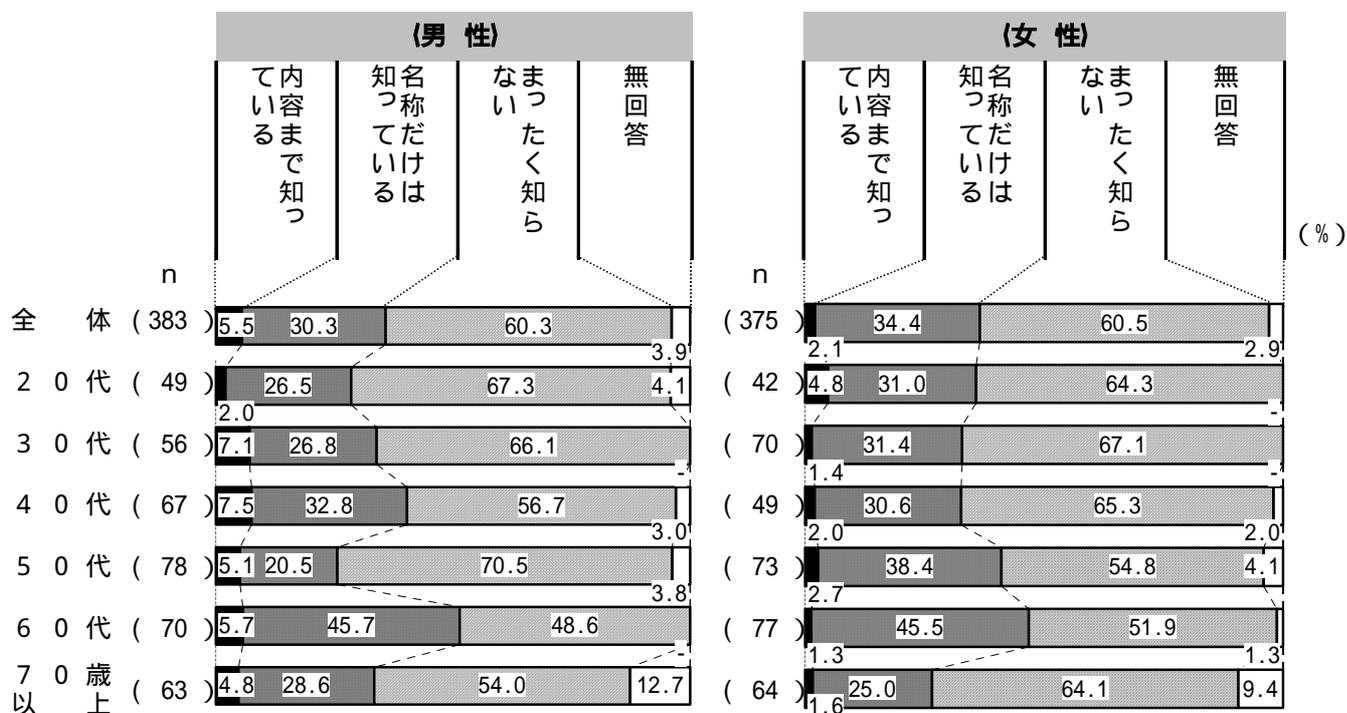
『児童虐待防止法』の認知度について性・年代別で見ると、男女ともどの年代でも高い割合を示している。(図表9-8-7)

<図表9-8-7>用語、法律、事業の認知度【児童虐待防止法】/性・年代別



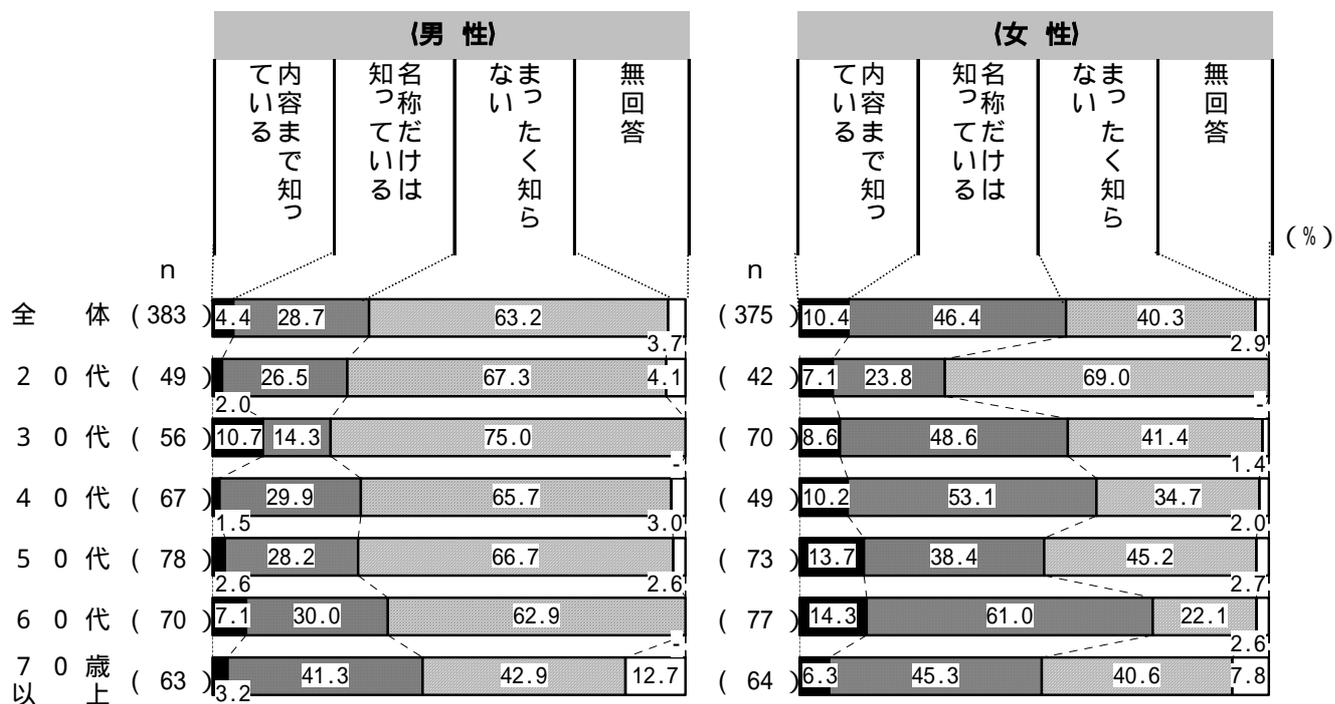
『次世代育成支援対策推進法』の認知度について性年代で見ると、『知っている』は男性の60代(51.4%)で約半数、男性の40代(40.3%)、女性の60代(46.8%)、50代(41.1%)で4割台と他の年代に比べ高くなっている。(図表9-8-8)

<図表9-8-8>用語、法律、事業の認知度【次世代育成支援対策推進法】/性・年代別



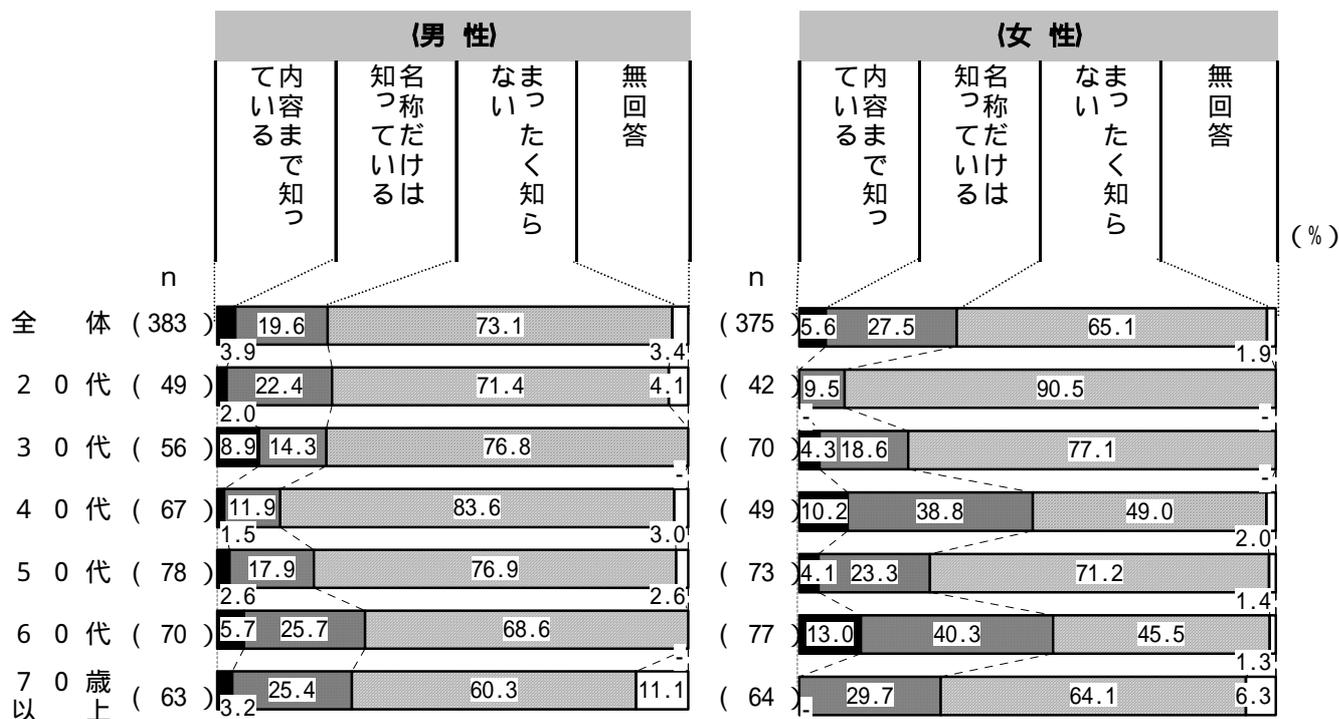
『福生市女性悩みごと相談』の認知度について性・年代別で見ると、《知っている》の割合は、女性（56.8%）では5割台半ばで、男性（33.2%）を大きく上回っている。特に、女性の60代（75.3%）では4人に3人が《知っている》。（図表9-8-9）

<図表9-8-9>用語、法律、事業の認知度【福生市女性悩みごと相談】/性・年代別



『福生市男女共同参画情報誌』の認知度について性・年代別で見ると、女性（33.1%）の約3人に1人は《知っている》が、男性（23.5%）は、約4人に1人とどまっている。特に、《知っている》は女性の60代（53.2%）で半数を超え、他の年代に比べ認知度が高い。（図表9-8-10）

<図表9-8-10>用語、法律、事業の認知度【福生市男女共同参画情報誌】/性・年代別



『福生市男女共同参画行動計画』の認知度について性・年代別でみると、男性(20.9%)は5人に1人、女性(25.9%)は4人に1人が《知っている》。特に《知っている》は女性の60代(48.1%)で約半数となっており、他の年代に比べ認知度が高い。(図表9-8-11)

<図表9-8-11>用語、法律、事業の認知度【福生市男女共同参画行動計画】/性・年代別

